

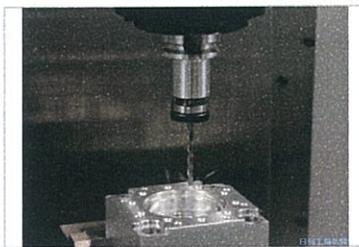
トップ > 機械・ロボット・航空機1 > 記事詳細

小 中 大

ツールホルダーで加工を変えるーユキワ精工、拡販に力

[ツイート](#) [いいね! 0](#) [LINEで送る](#)

(2015/3/12 05:00)



ツールホルダーで加工を変えるーユキワ精工（新潟県小千谷市、酒巻和男社長、0258・82・1800）は、切削工具を工作機械に取り付けるツールホルダー（工具保持具）の拡販に力を入れている。取引先に主力商品「スーパーG1チャック=写真」のサンプルを貸し出したり、加工している動画を紹介したりしている。さらに2016年をめどに同商品の進化版を投入する計画もある。

ツールホルダーは自動車部品向けを中心にIT向けなどでも使用されている。スーパーG1チャックの価格は約3万円（消費税込み）からで、同商品の売上高は年間2億円。地道な活動をさらに強化することでツールホルダーユーザーを着実に増やしていく。

機械主軸と切削工具をつなぐ役割で、機械加工の精度を引き出す重要な役割を持つ。剛性や振れ精度が高いツールホルダーを使うと機械と工具の性能を引き出せ、ワーク（加工対象物）の面粗度が向上するとともに、工具の寿命が延びるなどのメリットがあるという。

そこでサンプル貸し出を開始。使用中の製品と比べてもらったところ、約70%から「面がきれい」「工具が長持ちする」など同等以上の評価を得た。また、高い剛性を持つため、加工時に発生する音が静かであることを、タブレット端末の動画で訴求する。

重要な総合芯振れ精度についても5マイクロメートル（マイクロは100万分の1）と数字を表記するとともに、測定範囲について円元ではなく、機械に挿入されるテーパ基準面からと明確に表記。酒巻和男常務は「機械と刃物以上にお金をかける価値がある」とPRする。

（新潟）

(2015/3/12 05:00)

【PR】ロボットをビジネスへ：ロボティクスサポートサービス/日立システムズ

【PR】省エネを実現する ESCO・エネルギーマネジメントセミナー 1/19 聴講無料

[ツイート](#) [いいね! 0](#) [LINEで送る](#)

[マイクリップ登録する](#)

[記事を利用する](#)

関連リンク

[ユキワ精工](#)

あわせて読みたい

[テクノロジーで変わる ホワイトカラーの働き方【PR】](#)

[ロボティクスサポートサービス【日立システムズ/PR】](#)